



栃木市マスコットキャラクター
とち介

農業委員会だより とちぎ

2022.1.1
第 17 号

発行：栃木市農業委員会

編集：農業委員会だより編集委員会

電話：0282-21-2393



出荷用のニラ

育成中のニラの様子（10月中旬撮影）

目次

会長あいさつ.....	P2
農地等利用最適化に関する意見書提出...	P2
空き家に付属した農地の取得について...	P3
スマート農業事例紹介	P4
事務局からのお知らせ	P4.5.6
頑張ってます！ Agrist 番外編	P5
委員の募集について.....	P6
女性農業委員等の登用に関する要望について	P7
頑張ってます！ Agrist.....	P7.8
編集後記.....	P8

高知県に次いで全国2位の生産量を誇るニラは、イチゴと並んで栃木県を代表する農作物のひとつです。

古くは『古事記』にもその名前が出てくるそうで、日本人にはとても馴染みの深い野菜ですね。

年間を通して栽培出荷され、季節を問わず店頭に並びますが、冬のこの時期のニラは一番刈りといわれる物が多く、太くて柔らかく甘みがあり特におすすめです。

ニラ特有の強い香りのもとであるアリシンには、殺菌作用があり、豚肉やレバーなどに含まれるビタミンB1と結びついて、疲労回復の効果もあるそうです。

熱々のなべや餃子などたくさんニラを食べて、寒い冬を元気に乗り越えていきましょう。

《取材：鈴木久美子 委員》

会長新年あいさつ



栃木市農業委員会
会長 大塚 幸八



新年明けましておめでとうございます。2022年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より本市農業委員会活動に多大なるご理解・協力を賜り、深く感謝申し上げます。

2年間にわたる新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などで、外出自粛や飲食店等の休業要請などにより、地域経済は危機的な状況に陥っています。農業においても、米価が市場最安値と農家所得にも大きな影響を及ぼしました。

菅内閣も一年で幕を閉じ、昨年10月には岸田新内閣が発足「新型コロナ対応・経済再生に全力を尽くす」と明言。一日も早くコロナ終息を望みます。さて農業委員会の活動には、法的許可はもちろんのこと、地域の農業を将来に繋げる取り組みがあります。農地の集積・集約化を図り、持続可能な経営基盤の強化など農業経営発展に取り組んでいます。高齢化による

耕作者の減少が続くなか、次世代を担う若い農業者の育成も重要な課題となつています。

また、毎年農地利用最適化推進施策に関する意見書を市に要請しています。内容は農地の利用集積・遊休農地対策・新規参入の促進・担い手対策・コロナ感染症対策ですが、これらについても市には持続可能な農業農村の発展のために努力を続けていただいています。

今年、農業委員会委員改選の年となっています。農業委員、農地利用最適化推進委員が公募により選出され、7月には新委員会がスタートします。特に女性の参画を期待しています。

また、認定農業者の認定においても夫婦共同申請をお願いしています。女性の経営参画は当たり前の時代です。

最後になりますが「自分達の町は自分達の手で守る」を合言葉に地域のリーダーの育成・地域活動の推進など地域農業の発展のため努力してまいりますので、皆様方の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出しました

8月6日（金）、農業委員会から市長並びに市議会議員に対し、令和4年度及び令和3年度栃木市農地等利用最適化推進施策に関する意見書を提出しました。その概要は次のとおりです。

令和4年度 意見書

1. 農地利用最適化の推進

(1) 農地の利用集積について

人・農地プランの実質化後、地域担い手代表等と市、農業委員会、農業公社、土地改良区、JA等関係機関が一体的になった地域実行組織を設置し、モデル地区での取り組みを実行し、そこで得た集積・集約化の手法を基に他地区でも進めていただきますよう提案いたします。

(2) 遊休農地対策について

独自のブランドである宮ネギをはじめとして、当市の主力となる作物を選定し、産地化を図り、遊休農地の発生防止や条件に制限がある土地の利用価値向上の施策を展開され、また、遊休農地の再生利用促進のための補助制度について、ご検討くだ



大川市長、南齊副市長に意見書を提出

さるよう提案いたします。

(3) 新規参入の促進について

農業の魅力と省力化、自動化している農業実態をPRしていくとともに、

農業経営確立に向けた支援や所得安定の施策を推進するよう提案いたします。

(4) 担い手対策について

農家の後継者を中心に学生や若い人をターゲットとし、法人経営の要素を取り入れた農業経営を目指し、地域の担い手として育成していく体制の構築について、ご検討くださるよう提案いたします。

(5) 収入保険制度について

制度の普及及び安定的に所得を得る手段として、収入保険制度への加入に対する助成措置を講じられるよう提案いたします。

令和3年度 意見書

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

農業者が安心して営農活動を継続できるための対応策等を講じられるよう提案いたします。



小堀議長、広瀬副議長に意見書を提出

～ 空き家と一緒に農地を“売りたい”“買いたい”方へ～ 「空き家に付属した農地」が取得しやすくなりました!!

農地の売買・賃借等を行うには、農地法第3条に基づく許可が必要となりますが、許可要件のひとつとして農地取得後の耕作面積が原則として5,000㎡以上必要となります。

栃木市農業委員会では、令和3年4月1日より、「空き家に付属する農地」についてはこの要件を1㎡以上と緩和し、空き家に移住し家庭菜園等を始めたい方が農地を取得しやすくなりました。

遊休農地の解消、農村環境の保全、市外からの新規就農及び移住の促進等を図ることを目的としています。

1. 「空き家に付属した農地」の対象となる農地

次のいずれにも該当するもの。

- ・ 空き家は栃木市空き家バンクに登録されていること。
- ・ 空き家に隣接又は近接し、空き家取得者が耕作することが妥当な農地であること。
- ・ 農地及び空き家の所有者は同一であること。
- ・ 賃借権その他使用収益を目的とする権利の設定がされていない農地であること。
- ・ 市街化区域以外の農地であること。

問合せ先

農地に関すること 農業委員会事務局 (0282-21-2395)

空き家に関すること 建築住宅課 (0282-21-2451)

2. 農地を取得する者の要件

- ・ 5年以上継続して耕作し、かつ、空き家に居住すること。
- ・ 周辺の農地利用等への影響を与えないこと。
- ・ 取得する農地は取得者が耕作可能な面積であること。



Photo by Hiroki Okada

制度利用者の声

栃木市農地付き空き家制度利用者第1号

ふじたゆうだい かなこ
佐賀県から移住した藤田雄大・華菜子さん夫妻

◎おふたりのお仕事は？

(華菜子さん) 世界最高峰のバルーンレースである「熱気球世界選手権」チャンピオンと、熱気球の楽しさを世界に広めることを目指す『PUKAPUKA』を共同経営しています。

夫はパイロット、私は企画、広報等をするマネージャーです。

◎なぜ佐賀市から栃木市へ？

(雄大さん) 熱気球の国内レースは栃木、岩手、長野、三重、佐賀の5か所で行われます。その一つであり妻の実家もある佐賀市に住んでいました。

ただ、レース以外での活動場所は、渡良瀬遊水地であったことから、周辺に良い物件がないか探していたところ、藤岡町内に気になる物件に巡り合い、検討の末、栃木市に決めました。

◎どんなところが気に入りましたか？

(雄大さん) 建物の状態が良かったこと、何かと物が多い私たちにとって倉庫として使える別棟、庭があったこと、そして二人の趣味である家庭菜園には十分すぎる広さの畑があったことです。以前住んでいた所では近くの畑を借りて、有機農法で野菜を作っていました。トマト、茄子、キュウリ、白菜、ホウレンソウ

等、お店で買うものとは新鮮さが段違いですね。中でもビールとともに味わった枝豆の味は忘れられません。家のリフォームが完成したら、野菜作りを始めたいと思っています。

◎栃木市でどんな暮らしを？

(華菜子さん) 『PUKAPUKA』のミッションを達成するための本拠地として、栃木市暮らしを満喫したいです。家はリフォーム完成前ですが、庭では柿の実を食べたり、バーベキューをしたりして楽しんでいます。ただ、栃木市の冬の寒さに慣れるのにちょっと時間がかかりそうです。

気球は自然条件に左右され、緊急着陸地点が必要となることがあるため、多くの農家の方の協力をいただいています。そのため我々も田植え、稲刈り時期のフライトは控えます。

一年中気球を飛ばせて、都心からのアクセスも良い渡良瀬遊水地は、国内有数の飛行スポットです。そして上空1,000mから見る栃木市も魅力的な景色がいっぱいです。少しでも興味があればぜひ我々にアクセスしてください。

公式サイト <https://www.pukawaku.com/>

PUKAPUKA



《取材：石塚一彦 委員》

スマート農業〈事例紹介〉



スマート農業とは、これまで経験と勘に頼り、時間と労力をかけて行ってきた農作業を、先端技術（人工知能（AI）やロボット技術、さらには情報通信技術（ICT）など）により自動化・省力化し、高品質な生産を実現する新しい形の農業のことです。

農業が直面する課題の解決策として、市内でも導入が始まっています。ここでは二つの事例をご紹介します。



作業の効率化や従事者の負担軽減などの観点から、期待が高まっています。

そこで我が家でも、今年6月初めてドローンによる田圃への除草剤散布に挑戦してみました。これまで、3〜4日間を要していた作業が、わずか数時間で終わってしまったのは驚きでした。8月には殺菌剤、殺虫剤散布も終了。遠隔操作なので、操作ミスによる事故や、強風時の取扱いなどに課題がありますが、この調子なら肥料の散布、カメラを活用して生育状況のチェック等にも応用出来そうです。

英語本来の「ドローン」は雄ミツバチ、なまけものという意味だそうです。農業分野におけるドローンは本来の意味とは違い、作業改革の嚆矢となる可能性十分と認識しました。

《大島知江子 委員》

小型無人航空機であるドローンは、ホビーとして楽しむことに加えて、最近では、ビジネスの分野での活躍を目にする機会が増えています。私たちが従事する農業分野においても、農

事例②

大平町西山田ぶどう団地内にある

「ヤマヨ 松本ぶどう園」（園主…

松本和宏氏）のロボモア（無人草刈機）が稼働中です。近年少子高齢化の進む中、草刈り作業が大きな負担となっています。草刈りを自動化することにより負担を軽減するばかりではなく、危険の回避も図れます。ロボモアは、エリアワイヤーを設置後スマートフォンで指示を出すと天候や時間帯を気にせずに草刈り、帰還、充電のすべてを自動で行います。

エンジンを使わないために二酸化炭素の排出がゼロ、静かで環境にやさしい草刈機です。これからのスマート農業に活躍の場が拓がりそうです。

《取材…小林真理子 委員》



農業者年金制度が改正されます

令和4年1月から

若い農業者が加入しやすいよう保険料が引き下げられます

35歳未満で、認定農業者に該当しない等一定の要件を満たす方は、1万円から（上限6万7千円）でも通常加入できるようになります。

令和4年4月から

農業者年金の受給開始時期の選択肢が広がります

年金の要件を満たした方は、年金の受給開始時期を、ご自身で選択することができ（昭和32年4月2日以降に生まれた方が対象）

（1）農業者老齢年金 65歳以上75歳未満

（2）特例付加年金 65歳以上
（年齢上限なし）

令和4年5月から

農業者年金の加入可能年齢が引き上げられます

現在、農業者年金に加入できるのは、農業に従事（年間60日以上）する方で、20歳以上60歳未満の国民年金第1号被保険者ですが、60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方も加入できるようになります。

詳しい内容については、農業者年金基金のホームページ <https://www.nounen.go.jp> でご確認ください。

アグリスト 頑張ってます! Agrist (農・業・人) 番外編 ～アグリストを支える家族～

ゼロから学んだ養蜂術 ミツバチ越冬を成功させた 家族愛とミツバチ愛

自宅の隣に32年間、クリーニング店を経営していた寺内貢さんと妻の満子さん。現在、ミツバチ約50箱(25,000匹)を飼育しています。

飼育4年目になる今年、初めてミツバチの越冬に成功。その秘話をお伺いしました。



ミツバチを育ててみよう と思ったきっかけを教えてください。

2017年の冬、息子の崇浩が栽培するイチゴの苗が病気に感染してしまい、殆ど出荷ができなくなってしまいました。何か息子の力になれないかと考えた結果、イチゴ栽培に不可欠なミツバチを育てる「養蜂」にチャレンジしてみようと思いました。

どのような方法で養蜂に成功したのですか。

本やDVDで分蜂する方法や越冬する方法を学びましたが、上手くいかず壁にぶつかりました。養蜂家の小川一之氏にアドバイスを切願したところ、それから分蜂、越冬することに成功しました。本当に感謝しています。

難しいと言われる「越冬」出来たことについて、工夫した点を教えてください。

今まで失敗した点と小川氏のアドバイスも併せて、温度管理の工夫をしたところ、4年目で越冬に成功しました。

今後の目標を教えてください。

いつか、ハチミツも食べてみたいですし、ミツバチを越冬させてもっと増やしてみたいです。美味しいイチゴづくりには、元気なミツバチが必要。それを育てることが私達の原動力です。

我が子のように、ミツバチを見守るご夫婦は、息子さんへの家族愛とミツバチ愛への思いが熱く伝わって来ました。

《取材：泉田裕美 委員》

栃木市梅沢町

寺内 貢さん・満子さん(妻)



令和4年2月1日(火)～16日(水)

月	火	水	木	金
31	1	2	3	4
	栃 木	栃 木	共同・受委託	共同・受委託
7	8	9	10	11
都賀・西方	都賀・西方	藤 岡	藤 岡	—
14	15	16	17	18
大 平	午前：大平 午後：静和地区	午前：岩舟地区 午後：小野寺地区		

農業用軽油取引免税証申請日程
のお知らせ

■受付時間

■申請会場

■問合せ

【午前】 9時～11時30分
【午後】 1時～3時30分

下都賀庁舎

第2福利厚生棟会議室

(栃木市神田町6-6)

栃木県税事務所

軽油引取税調査担当

TEL 23-6882

栃木市農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員の推薦・応募を受付けます。

受付期間：令和4年2月1日(火)～2月28日(月)

募集人数：農業委員 21名・農地利用最適化推進委員 35名



令和4年7月20日から令和7年7月19日の任用期間の農業委員を募集いたします。

また、農業委員とともに農地等の利用の最適化の推進に取り組んでいただく、農地利用最適化推進委員につきましても、同時に募集いたします。

農業委員会の活動が、地域農業の将来を見据えた取り組みとなるよう、性別や年齢にかかわらず、女性や青年農業者、認定農業者等の担い手、地域農業の振興に理解のある住民などの多様な人材を求めています。

農業委員の職務内容

- ◎農地の権利移動や転用に係る許認可及び農地利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進
- ◎法人化その他の農業経営の合理化、農業に関する調査及び情報提供等

農地利用最適化推進委員の職務内容

- ◎農地利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）推進業務、それに伴う現地での調査、指導等

募集方法は、農業委員、農地利用最適化推進委員のいずれも個人（3人）による推薦、団体による推薦、一般からの募集の3種類となります。推薦する方、応募する方は、該当する様式にご記入のうえ、農業委員会事務局まで提出願います。（受付時間：午前8時30分から午後5時15分 土日祝日除く）

受付期間の中間及び期間終了後に、栃木市のホームページ等で、推薦した者、推薦を受けた者及び応募した者に関する情報を公表いたします。

くわしい募集要項等は、1月以降、農業委員会事務局、各総合支所地域づくり推進課の窓口にあるほか、栃木市ホームページからもダウンロードできます。

また、つぎのとおり栃木市農業委員会の委員、農地利用最適化推進委員の募集についての説明会を実施いたします。

～農業委員・農地利用最適化推進委員募集に関する説明会～

会 場	日 時
都賀公民館 2階研修室 1.2	令和4年1月7日（金）午後6時から
大平公民館 2階会議室 1.2	1月11日（火）午後6時から
国府公民館 大交流室	1月13日（木）午後6時から
藤岡公民館 3階大会議室	1月19日（水）午後6時から
岩舟公民館 2階講義室	1月21日（金）午後6時から

※説明内容は全会場同じですので、ご都合に合わせて出席ください。



お問い合わせ先

栃木市万町9番25号 栃木市農業委員会事務局（栃木市役所2階）（電話0282-21-2393）

アグリスト 頑張ってます! Agrist (農・業・人)

有機野菜にこだわり、 自然な野菜を消費者に

栃木市大久保町

ぬい農園

ぬいむら けいこ

縫村 啓子さん



はるみ

啓美さん(夫)

就農して4年目の「ぬい農園」の縫村さんご夫婦にお話を伺いました。

就農までの経緯と経営状況を教えてください。

私は壬生町の「株式会社ベジファーム」で2年間農産物の生産と流通を学び、夫は観光いちご園「日光ストロベリーパーク」勤務を経て就農しました。

有機野菜の少量多品目で、イタリア茄子、白ピーマンを始め今年は約40品目の野菜を栽培しています。併せてゆずシロップやさつまいもジャム等の加工品も手がけています。販売経路は、二人で地域の皆さんに助けをもらいながら広げています。

農業をやっている面白いところはなんですか。

品種選びの段階でできるだけ他で作っていないものを選び、普通の野菜として買ってもらえるように、試行錯誤しながらやっていくところです。うまくいった時はうれしいし、町の人とのつながりが「ぬい農園」を広く知ってもらえるきっかけとなっています。



これからの夢はなんですか。

地域によりそう農業をめざしています。この辺りは獣害も深刻な問題ですので、わな狩猟免許を取得しました。おいしい農産物を届けながら、耕作放棄地をなくし農地の環境整備を通じて、人と人とを縫い合わせてよりよい地域をつくっていきたいなと思います。

《取材：長 明美 委員》

意見交換会終了後、下都賀の針谷会長から一人でも多くの女性が登用されるよう、大川市長、小堀市議会議長、及び大塚会長に要請書を提出しました。



下都賀、針谷会長より
大塚会長に要請書を提出

農業委員の登用の現状・課題等を説明した後、大塚会長、柴木村職務代理者、女性の農業委員6名と意見を交換しました。



意見交換会の様子

最初に県の興野会長が女性登用の必要性、県・下都賀の活動状況、全国や県内の女性農業委員会を訪れました。

令和3年10月19日(火) 栃木県農村女性会議(以下、県)の役員5名、下都賀地区農村女性会議(以下、下都賀)役員4名が来年度委員改選を控える本市農業委員会を

県内2つの女性団体が
女性委員登用要請のため
栃木市を訪問

アグリスト 頑張ってます! Agrist (農・業・人)

フレッシュなハートと ぶどうで心機一転!!

大平町西山田
森田ぶどう園

もりた ひでよ なおこ
森田 英世さん・直子さん(妻)



森田さんご夫婦は2019年の新規就農を目指し、2016年に圃場へ苗木を定植。多品種で魅力あるぶどうに興味があり、大好きなぶどう作りをスタートしました。

縁あって様々な方々からご支援・ご指導を頂き、大平町ぶどう団地で森田ぶどう園として頑張っています。

新規就農した理由を教えてください。

30年間東京でサラリーマン生活を送っていましたが、50歳を迎えるころ、自分の今後の人生について考え直すようになりました。

元々、植物を育てるのが好きであったため、地元の栃木市で農業を志しました。

経営状況について教えてください。

雨除け栽培、露地栽培など、約130aのぶどう畑で14品種を育てています。直売の他、ネット販売、ぶどう狩りもやっています。

私と妻のほか、パートさん2～3人で作業をしています。就農3年目ですが、生活費が賄える収入が見込めるようになりました。



英世さん 直子さん

農業をやったの喜びを教えてください。

自然の中で自分のペースで仕事ができ、「自分の好きなことを仕事にしている!」と思えることが一番の喜びです。また、妻と共通の目標ができ、協力し合える点も良かったと思っています。

これからの目標や夢を教えてください。

ぶどう狩りのサービスに力を入れ、ぶどう畑の魅力をお客様に発信していきたいと思っています。また、長くぶどう農家を続けるために、体にやさしい栽培方法を工夫して行きたいです。

《取材：小林真理子 委員》



編集後記

新しい年明けおめでとうござい
ます。

みなさま健やかにお正月をお
迎えでしょうか。

昨年はコロナ感染者増加の
中、オリンピックが開催され、
またワクチン接種開始と慌ただ
しい一年でした。もう少しの間、
用心する日が続くと思います。
一日も早く、落ち着いた生活
を取り戻せる様、心よりお祈り
申し上げます。

農業委員会だよりの発行は委
員の活動や農業者の活躍、い
ろいろな情報をお伝えしたいと考
えています。皆様からのご意見
をお聞かせください。

《編集副委員長 石塚一彦》

農業委員会だより編集委員会

委員長	五十畑節子
副委員長	石塚一彦
委員	毛塚 信道
委員	大橋 雄一
委員	大島知江子
委員	泉田 裕美
委員	小林真理子
委員	鈴木久美子
委員	長 明美